

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	水源環境保全再生事業			事業番号	27-102
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	経済環境部	田中丈司	農業振興課 農林整備担当	樋口 明	

計 画 (Plan)

総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち	
		基本政策	8	自然と調和した住みよいまちづくり	
		施策展開の方向	2	みんなの努力で環境にやさしいまちをつくる	
		施策	27	自然共生社会の構築	
予算事業名	水源環境保全再生事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	できる規定がある
事業開始年度	開始年度	平成24年度 ~		終了年度	平成28年度
関連法令等	神奈川県水源環境保全・再生市町村交付金交付要綱				
国・県の計画等	かながわ水源環境保全・再生施策大綱			計画期間	平成19年度～平成38年度
関連個別計画	水源環境保全・再生事業 藤野用排水路整備計画			計画期間	平成24年度～平成28年度
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	将来にわたり県民が必要とする良質な水の安定的確保を目的として、水の恵みの源泉である水資源環境を保全・再生するための特別の対策を推進する必要がある。				
目的 (何をどうしたいのか)	河川・水路の良好な水源環境を形成するため、自然石を利用した多自然型水路の整備による礫間浄化作用により水質改善及び動植物の良好な生息環境の向上を図り、水辺環境の向上を実施する。				
主な対象 (誰・何を対象に)	寒川浄水場からの給水世帯				
事業内容 (手段、手法など)	・水路の自然浄化や水循環の機能を高めることを目的に、生態系に配慮した水路整備を行います。(全体延長L=340m) ・水質改善効果を調べるため水質測定を実施していきます。(水質測定7カ所)				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	水質測定	継続実施		継続実施	
	多自然型護岸工事	継続実施		—	
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
			28年度	29年度	
	生態系に配慮した水路の整備延長	L=101.6m	L=340m	L=340m	



事業実施 (Do)へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	昨年度に引き続き整備工事を実施し事業完了に向け、事業進捗を図っていく。		
実施方法 〔選択・記入〕	○ すべて直接実施 ● 左記以外		
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者 株式会社中村園
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容
実施結果	項目	年度	
		28年度	29年度
	水質測定	継続実施	
	多自然型護岸工事	継続実施	
実施した取組の内容	生態系に配慮した水路として L=216.8m整備し、整備効果確認のため水質測定を7カ所で実施		
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度
			28年度
	生態系に配慮した水路の整備延長	L=101.6m	L=216.8m
			29年度

年度		28年度 実績				29年度 実績			
事業費合計 (a)		37,522		千円					千円
内訳	国県支出金 ①	37,518		千円					千円
	地方債 ②	0		千円					千円
	その他特財 ③	0		千円					千円
	一般財源 (a)-①-②-③	4		千円					0 千円
国県支出金の内容		神奈川県水源環境保全・再生市町村補助金 補助率 県100%							
コスト	その他特財の内容	受益者負担		○ 有 ● 無		前回の改定時期			
		その他							
人件費	正規職員	0.25	人	2,163	千円		人		千円
	その他の職員	0	人	0	千円		人		千円
	人件費合計 (b)	0.25	人	2,163	千円		人		千円
トータルコスト (a)+(b)				39,685	千円				千円
単位当たりコスト	対象数	定義	当地域の耕作者			単位			単位
		対象数	13,400		人				
	総事業費 / 対象数	2,962		円					円

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	藤野用排水路の整備が平成28年度で完了。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市の事業内容等	事業規模や工法等により、一律には比較できない事業である。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	多自然型水路の整備により、水質改善及び動植物の良好な生息環境の向上を図り、水辺環境の向上がはかれた。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	水源環境税の主旨である水質浄化改善が図られる様な整備をしている。


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	整備箇所が限定されており、水源整備区域の拡大について県へ引き続き要望していく。
次年度取組方針		平成28年度に整備が完了した藤野用排水路の水質調査を実施していく。		
所管部長による総評		県民の貴重な水源である相模川水系へ、本市で唯一接続する日向川水系の水質保全は必要不可欠な事業であり、県と連携し水源税の活用を図りながら、事業を推進させていく。		